

続・ふるさと

はら話

日露戦争と芳賀町①

今年、日露戦争の開戦からちょうど100年目にあたる。

芳賀町史編さんの調査で、県立図書館で欠号になっている日露戦争時の下野新聞があらたに発見された。

その新聞には、「戦地雁信」(雁は消息をも

たらず使いといわれる)

という欄があり、芳賀町から出征した兵士から送られてきた手紙がおおく紹介されている。

祖母井村下延生から出征した石川三市郎の手紙は、つぎのようである。『下野新聞が毎日のように戦地までとどき、新



石川さんの手紙が掲載された下野新聞(明治34年10月6日付)

第6回

聞を見ることが一番の楽しみ、手紙の往復や良い食事を得ることも楽しみである。なによりも一番は大勝を得ることである。』

新聞から得る他地域の戦闘状況や郷土の情報などが兵士に届いたのであろう。

占領した遼陽や日本軍の様子についても、手紙で細かに伝えている。

『遼陽は、宇都宮市の二倍くらいの市街で、占領後10日以上たっているが、いまだ砲弾の煙がくすぶっている。』

敵の死傷者は二千人にのぼり、惨憺たるものである。所属する部隊も50人くらいの死傷者をだし、今は半数くらいとなっている。』

編集後記

□記録的な猛暑も終わりを告げ、秋の気配を感じる今日この頃。
□今年の夏は、オリンピックの感動に浸った人も多かったのでは。栄光を掴んだ者、でもその陰には夢やぶれた多くの涙が。人それぞれのオリンピック。これで終わりではありません。
□敗北を糧に次へのステップにつなげて欲しいものです。(K)



Ardea:cinerea (体長93cm)

頭と首は白く、目頭から後頭部にかけて黒い線があり、黒い冠羽が生える。体色は白色であるが翼の大部分(雨覆)は、青灰色で初列雨覆と風切羽は黒く、国内で最大級のサギである。

以前は、ツルが飛来したとの誤報も寄せられたことがあったが、最近は県内での繁殖例が増え、個体数が増えた野鳥である。

サギ類とツル類の違いは飛行時に首を曲げて飛ぶのがサギ類であるから遠くからも良くわかる。1980年後半の頃は町内では珍鳥の部類であったが、1998年頃より町内の河川や水田などで単独行動して採餌している姿が目につく。餌はカエルなどの動物や甲虫類や魚類と大食漢であって、ナワバリは広い。

- 編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
- 発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
- 芳賀町ホームページアドレス <http://www.town.haga.tochigi.jp>
- 苦情専用フリーダイヤル ☎0120(753)898

